



主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
福島原発震災に関する研究フォーラム

基盤教育科目「3.11と学問の不確かさ」公開授業 なぜ脱原発する必要があるのか

福島での原発事故被害が続いている一方で、日本政府は気候変動対策と脱炭素を理由として、次世代型原発の開発と建て替えの推進、既存原発の60年超の運転を認める方針を掲げ、国会で関連法が成立しました。この方針を議論してきた経済産業省の有識者会合「原子力小委員会」に委員として参加した松久保肇さんは、NPO法人の事務局長として脱原発に向けた提言を続けておられます。この授業では、なぜ脱原発が必要だと考えるのか、またNPO法人に所属して社会問題に取り組むとはどのような意味があるのかについて、お話しいただきます。

日時：2023年7月26日（水曜日）16：00-17：30

講師：松久保 肇（まつくぼ はじめ）さん

認定NPO法人 原子力資料情報室事務局長

プロフィール：法政大学大学院公共政策研究科修士課程修了。2012年より原子力資料情報室スタッフ。共著に「検証 福島第一原発事故」（七つ森書館）、「原発災害・避難年表」（すいれん舎）など。経産省の有識者会合「原子力小委員会」や、「革新炉ワーキンググループ」の委員も務める。

開催方法：Zoomを使ってオンラインで行います（参加費無料・15時50分から入室可能）

参加方法：履修生以外で聴講を希望される方は、7月24日月曜日までに下記のGoogleフォームに必要事項を入力してください。参加するために必要な情報をお知らせします。申込先：<https://forms.gle/Er6ftGxXnNw6nKz7>

問い合わせ先：uuforumsymposium@gmail.com 国際学部 清水研究室宛て